

(お 知 ら せ)

2025年9月11日

中国電力株式会社

株式会社エネルギーL&B パートナーズ

社有林の維持管理による 森林由来のJ-クレジットの認証について

中国電力株式会社（以下「中国電力」）と株式会社エネルギーL&B パートナーズ（以下「L&B」）は、このたび、中国電力が広島県内に保有し、維持管理する社有林^{※1}の一部（約127ha）について、J-クレジット制度^{※2}に基づく森林由来のクレジット（CO₂吸収量）の認証を受けましたので、お知らせいたします。

J-クレジットの認証を受けるのは両社ともに初めてです。

中国電力と、同社社有林の維持管理を受託しているL&Bは、森林が保有する環境価値を有効活用して地域・お客さまの脱炭素化に貢献することを目的に、当該社有林の一部を活用したJ-クレジットの認証に向けた申請を共同で行い、2023年度分^{※3}として289tが認証されたものです。

なお、同申請において認証を受けられる期間（認証対象期間）を8年間（2023年度分～2030年度分）としており、年度ごとの森林管理実績に基づく総認証量は、2023年度分も含めて約2,000tを見込んでいます。

認証を受けたクレジットについては、今後、地域でご活用いただける方法を検討してまいります。

両社は、中国地域を基盤とする事業者として、引き続き、エネルギーの脱炭素化を進めるとともに、地域の皆さまと連携して、カーボンニュートラルに挑戦することで地域の発展に貢献してまいります。

※1 中国電力は、岡山県の吉井川・高梁川、広島県の太田川の上流に約1,500haの社有林を保有。これらの森林は、水源かん養機能（森林の土壌が降水を貯留し、河川へ流れ込む水の量を平準化して洪水を緩和するとともに、川の流量を安定させる機能）のほか、CO₂の吸収や土砂流出の防止、野生動植物の生息環境保護など多くの機能を有している。

※2 省エネルギー設備の導入や再生可能エネルギーの利用によるCO₂等の排出削減量、適切な森林管理によるCO₂の吸収量を「クレジット」として国が認証する制度。当該クレジットは、売買することができる。

※3 クレジット（CO₂吸収量）は年度単位で算定するため、2023年度分のクレジットを2024年度に申請し、このたび認証を受けた。

以 上